

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

Tel 03
(5950)
1771

一步踏み出せば豊かな学びと仲間が待っている 在校生からのメッセージ。「求む!後輩たち」 「東京建築カレッジと一緒に学ぼうよ!」



2年生の授業課題を掲げてポーズを取る粉川さん(右)と田中さん。(池袋校舎2階中教室)

東京建築カレッジは、来年4月入学生(第30期生)募集活動中です。「もっと多くの人に建築カレッジの学びの魅力を伝えて、入学応募者を増やしたい」と呼びかけたところ、第29期生(1年生)3人が協力してくれました。

(共通質問項目)

- ① 建築カレッジに入った理由は何か?
- ② 入学して良かったこと
- ③ 応募しようかどうか迷っている人に一言
- ④ 将来の夢。

粉川 恭二 さん 施工管理

① リフォームの営業をしたい。そのために建築の基礎から幅広く知りたかった。知識があることは信頼につながる。

② 根本的な知識が得られること。朴(パク)先生や金田先生の授業は夏の暑さ、冬の寒さの解決方法を示してくれるのでとても好き。それから、先生を含めてクラスメイト全員の仲が良く、毎回来しい。卒業後も集まって遊ぶだろうな、と思う。

③ 入って後悔することはないです。迷っているくらいなら入っちゃいましょう! ほんとに楽しいし、自分のためになります。

④ 夫婦で日本全国の名所(名建築物?)に旅行したい。

田中 伶旺 さん 建築大工

① 就職した会社の新人教育制度で入学しました。② 建築にかんする、より深い知識が得られる。実際に実習棟を建てて学べるのも良い。③ やる気さえあれば、一人前の大

工を目指すし、同じクラスの色々な職種の人と交流できる。④ 勤務先の会社が新たにつくる学校の先生か、一人親方。



増永 寛子 さん 内装工

① 建築について深く学びたくなったから。② クラスメイトがみんな個性的で面白く、すごく楽しい。好きな授業は「木造実習」。③ 建築に興味があるなら入学して後悔はないと思う。④ 建築業界に自分の居場所をつくること。

「迷っているなら入っちゃいましょう!」

来年4月入学生(第30期生)募集中! 授業・学校見学歓迎!

見学日・時間帯を事前に予約してください。

お問い合わせはお気軽に!!

電話03・5950・1771 建築カレッジ係

第4回入学選考会 応募締め切り 1月16日(木曜)、選考日 1月21日(火曜)



構造力学の基礎を繰り返し学習

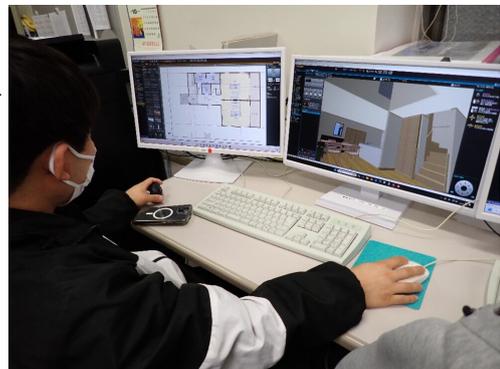


苦手意識を克服してもらおうと、初歩を繰り返し丁寧に教える関昌彦講師(一級建築士)。第29期生(1年生)の授業の様子=11月1日、池袋校舎

大工実技実習が目立つ建築カレッジですが、授業の半分は座学系です。中でも「構造力学」関連の複数の授業に2年間で約250時間も割り当てて丁寧な教育を行っています。法令を遵守した安全な建物をつくる上で、構造の知識は欠かせません。お客様から耐震補強の相談をされたときに、大工など施工従事者として、ある程度の専門的な助言や提案ができれば信頼度は確実に上がります。そういう職人になってほしい、という思いで、担当講師の皆さま

んは授業に情熱を注いでいます。中でも、第2期生の関昌彦講師(一級建築士)は、カレッジ生の特徴をよくわかっているようで、対話型の授業で構造力学の苦手意識の払しょくに頑張っています。1年次の大工実技実習課題「実習棟」を使った構造実験も関講師の担当です。授業の合間の雑談では、建築士試験での失敗談などを披露し、勉強の仕方へのアドバイスもしています。一方、実習棟実習も来年1月下旬の上棟に向けて江東実習場での作業が本格化しています。入職したばかりの新人が手刻みで部材をつくっていきます。チームワークも学びます。見応えたっぷり。見学を歓迎します。ご希望の方は事前にご連絡ください。

自分の設計プランを3D化



建築カレッジは設計製図や設備系の授業と連携する情報系の授業も充実しています。2年生の11月8日のパソコン室での授業(右写真)では、各自が自由設計した住宅プランの3D(立体表現)化に挑戦しました。2年間、真面目に授業を受ければ、JWCADの操作が習得でき、3Dソフトや「パワーポイント」(マイクrosoft)によるプレゼンテーションの技法も身に付きます。

建築スケッチも

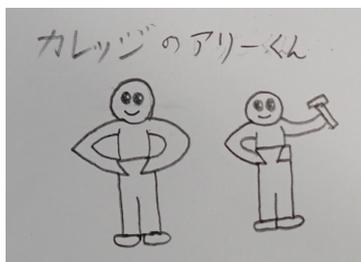


現場の打ち合わせの際に、素早くスケッチができれば便利。建築カレッジでは建築スケッチも学びま

す。パース(透視図)や等角図の理論の説明を受けた後に、スケッチの練習をします。2年生は11月9日、「代官山ヒルサイドテラス」で野外スケッチに取り組みました(写真左上)。スケッチ授業に刺激を受けて建築カレッジのキャラクターデザインに挑戦する人も。人のかたちを木の蟻(あり)仕口で表したカレッジマークをモチーフに即興で「カレッジのアリーくん」を描いてくれた研修生もいました。



カレッジマーク



出演する卒業生は、第3期生の石田憲一さん(大工)と佐藤安紀子さん(設計)。このテーマで自分たちができることは何か、意見表明する予定です。司会進行も卒業生です。第21期生の皆川靖彦さん(大工)、第25期生の小林薫さん(大工)が務めます。

公開講座に卒業生出演

11月16日の第25回公開講座「いのちを守るため、大震災の前に 危険性診断と適切な対策を」は、木構造の研究者で「大工塾」などの実践で職人の世界でも有名な山辺豊彦さんの講演をおこないます。現場の大工代表の立場で橋本英夫教務運営委員との対談のほか、卒業生が討論に参加するコーナーもあります。